

「夕歩道」とは  
夕張川と流域住民をつなぐ  
川の道です

# 夕歩道

## 1 第23回夕張川流域会議の概要

◎日時／平成23年11月28日(月) 13:15～17:10

◆フィールドワーク／13:15～15:20

場所／夕張川上流、中流域(南学田揚水機場、川端ダム、清水沢ダム、夕張シューパロダム建設現場)

◆意見交換／15:35～16:30(17:10解散)

場所／夕張シューパロダムインフォメーションセンター



フィールドワークの様子(南学田揚水機場(上)と夕張シューパロダム建設現場(下)の見学)



意見交換の様子

第23回夕張川流域会議は、「利水」をテーマにしたフィールドワークが実施されました。フィールドワークで説明された内容を抜粋すると以下の通りです。

○南学田揚水機場は北海道で最初の電化揚水機場であり、この地区で結成された角田土功組合も道内第1号の水利組合である。

○川端ダムは、発電のほかにかんがい用水を下流域に供給して穀倉地帯を支えている。

○清水沢ダムは、もとは北海道炭礦汽船(株)(北炭)が夕張炭鉱等に電力供給するための自家発電用電力発電として建設したものだ。

意見交換では、「夕張川が多面的な利用の歴史と現状を持っていることがわかった」、「夕張シューパロダムの早期完成を期待する」といった感想や意見が出されました。普段、何気なく使っている水もみんな川の水からきています。川の恵みに感謝!!

詳細はHPで! <http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/08isiken/02genba/23ebetu/index.html>

## 2 栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会が農林水産大臣賞受賞

栗山町の葉散別川で里山づくりに取り組んでいるハサンベツ里山計画実行委員会が「田園自然再生活動コンクール」で農林水産大臣賞を受賞しました。ハサンベツ里山計画は、人と自然が共生する環境を残したいという町民有志の思いから、2001年に離農跡地24haを活用してスタートし、官民連携で活動を続けています。



石組みによる川づくりの様子

詳細はHPで! <http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/111018.html>

## 3 夕張川新水路が平成23年度土木学会選奨土木遺産に選定

夕張川新水路が平成23年度土木学会選奨土木遺産に選定されました。昭和11年に竣工した夕張川新水路は、江別川(現千歳川)に流入していた夕張川を直接石狩川へ流すための新水路整備工事、南幌町や長沼町の水害常襲地帯を穀倉地帯へ変貌させる礎となりました。



夕張川河口方向から見た新水路

詳細はHPで! [http://committees.jsce.or.jp/doboku\\_isan/node/21](http://committees.jsce.or.jp/doboku_isan/node/21)  
<http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/10chisui100/jigyo/j039.html>

## フィールドワーク

夕張川流域では、小中学校やNPO等が、川下り、魚採り、自然観察等、様々な川の学習活動を行っています。これら活動が安全にかつ効果的に実施されるように手引き書をつくらうという動きがあります。日頃から夕張川の学習活動に関わっている有志が夕張川の特性や川の働き、自然と川の関わり等を学ぶフィールドワークを行いました。今年のフィールドワークは秋冬2回実施され、来春にも開催が予定されています。

## その1

## 秋のフィールドワーク

◎日時／平成23年10月29日(土) 9:00～16:00

◆場所／ペンケモユーパーロ川、多良津橋付近、清幌床止

テーマ 上流で川の流れ方を見る。魚類の産卵適地を見る。上流と下流の河川形態を比べる。



河原の伏流と水の流れ方を学ぶ様子



風化した泥岩が溶け出す様子



サケの産卵適地を確認する様子

## その2

## 冬のフィールドワーク

◎日時／平成23年12月10日(土) 12:30～15:30

◆場所／雨煙別川下流

テーマ 湧水を捜す。魚類の越冬環境を見る。

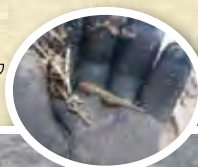


伏流した水の温度と河川水温を比較する様子

見つけた  
ジュズカケ  
ハゼ



見つけた  
フクドジョウ



堆積した葉の中やブロックの下部が魚類の越冬場所となっている



## その3

## 秋・冬のフィールドワークでわかったこと

- 夕張川の水が濁るのは泥岩が溶けだすという土質に一因がある。
- 水が分散する環境があれば土砂コントロールができる川になる。土砂コントロールが川の形態をつくる。
- 洪水時の水は河原が残っているところを流れる。河原から河原へ洪水がまっすぐ流れる。
- 淀みに溜まった葉は、分解されて川や海の栄養分になるが、直線河川ではそのまま流れ、ただのゴミになる。
- 清幌床止の downstream 付近では、いくつか洲が形成され魚類の産卵環境に適した場所が多い。
- (冬の結果から)伏流した水の水温は河川水温よりも高い。サケは、伏流した水を産卵場所を選ぶことがある。
- 雨煙別川下流で湧水は見つからなかったが、河川水が洲の中を伏流する場所がいくつかあった。
- 堆積した葉の中、ブロックの下部などがハゼ類、フクドジョウの越冬場所になる。
- 川の中には、たくさんのゴミがあり生活雑排水も流れている。